

## 北九州市立本城陸上競技場の 施設命名権を獲得

2023年8月から新施設名称(愛称)

『黒崎播磨陸上競技場 in HONJO』の使用開始

当社は、令和4年4月より北九州市が募集を開始した提案型ネーミングライツ(施設命名権)事業に応募し、所定の審査等を経て、令和5年7月に北九州市立本城陸上競技場の命名権者として同市と契約を締結いたしました。これに伴い、令和5年8月1日から、当社名を冠した当該施設新名称(愛称)『黒崎播磨陸上競技場 in HONJO』の使用が開始されました。

当該施設は、日本陸上競技連盟加盟団体の陸上競技選手権大会や地方大会が開催される第二種陸上競技場で、1万人の収容が可能です。当社陸上競技部の活躍が期待される毎日駅伝大会のスタート・ゴール地点であるとともに、陸上競技の他、サッカーやラグビーの大会会場として、地域の皆様に幅広く利用されております。

当社は、ネーミングライツサポーター企業として、愛称とともに当該施設の利活用を通じ、地域の皆様の健康増進・地域活性化への貢献と、当社認知度の向上に取り組んでまいります。

契約の概要は以下のとおりです。

対象施設	北九州市立本城陸上競技場 福岡県北九州市八幡西区御開4丁目16-1
愛称	黒崎播磨陸上競技場 in HONJO
契約期間	令和5年8月1日から令和8年7月31日



北九州市市民文化スポーツ局長をお招きし、愛称使用開始イベントを開催

(写真右側:北九州市市民文化スポーツ局長 井上様、写真左側:当社取締役常務執行役員 竹下)

陸上競技部のwebサイトは  
コチラ▶



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
剰余金の配当の基準日	○期末配当実施の場合……3月31日 ○中間配当実施の場合……9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.krosaki.co.jp/)に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京(プライム)・福岡
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
照会先	☎0120-782-031 受付時間/土・日・祝日を除く 9:00~17:00 インターネットホームページURL https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/

### ■株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記のお問合せ先にご連絡ください。

### ■特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、日本証券代行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しています。

お問合せ先 ☎0120-707-843  
(受付時間/土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)

### 黒崎播磨株式会社 (証券コード:5352)

〒806-8586 北九州市八幡西区東浜町1番1号

URL:https://www.krosaki.co.jp/

TEL.093-622-7224 FAX.093-622-7200



このパンフレットを印刷・製本する際の電力(100kWh)は自然エネルギーでまかなわれています。



このパンフレットは植物油インキを使用しています。



SDGsの取り組みwebサイトはコチラ▶

## 株主のみなさまへ

### 第133期 第2四半期のご報告

2023年4月1日から2023年9月30日まで

#### ごあいさつ

代表取締役社長

江川 和宏



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの当期経営成績は、昨年度来、耐火物事業における原料・エネルギー価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁が進んだことに加え、堅調なインド鉄鋼市場等での事業拡大並びに非鉄分野向け拡販等により、売上・利益ともに上期として過去最高を達成いたしました。これも株主のみなさまのご支援のお陰と深く感謝申し上げます。

今般、昨年度の経営成績が2025経営計画の財務目標を前倒しで概ね達成した一方で、当社グループを取り巻く事業環境が引き続き大きく変化しつつあることを踏まえて、更なる成長を目指すべく2025経営計画の見直しを行い、7月28日付で公表いたしました。今後は2025見直し経営計画で掲げた各種施策の確実な実行、SDGsの取り組み深化、カーボンニュートラルへの弛まぬ歩みを通じ、更なる事業成長と持続可能な社会づくりへの貢献を引き続き推進してまいります。尚、2025見直し経営計画の見直し内容については次項トピックスに掲載しております『2025経営計画の見直しについて』をご参照ください。

株主のみなさまにおかれましては、今後更なるご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 2025経営計画の見直しについて

### 経営計画の概要

#### I.基本方針

- 国内需要の構造的変化に対応した国内耐火物事業の抜本的体質強化策を実行し、マザー拠点としての競争力を維持・向上するとともに、海外においては当社の高い技術力を活かしたインド・東南アジアでの拡販、パートナー企業との連携による欧州・米州での事業拡大を進め、グローバルな規模での耐火物事業の更なる成長を図る。
- ファーンレス事業においては、鉄鋼分野における整備作業領域の拡大を図るとともに、ゼロカーボン化の流れも踏まえ、当社の高い設計・施工技術力を礎に省エネ工業炉、環境炉分野での拡販を強力に推進する。
- セラミックス事業については、半導体製造装置用ファインセラミックスの受注拡大、環境関連分野への断熱材料開発・拡販、5G・IoT等を背景とした電子部品分野での需要増の着実な捕捉、新規分野への積極的な進出を図る。
- これら各事業分野での戦略推進と合わせ、事業基盤である安全・環境・防災・内部統制分野でより高次元なレベルを追求するとともに、カーボンニュートラルを含めたサステナビリティ課題、SDGsへの当社としての取り組みを進め、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進する。

#### II.主要施策

- 耐火物事業での収益・競争力強化
- ファーンレス事業での収益力強化
- セラミックス事業での収益力強化
- 全社的事業基盤の強化と持続可能な社会への貢献

#### III.設備投資計画・財務目標

目標	見直し後	見直し前	増減
設備投資計画(5年間)	350億円	200億円	150億円
連結売上高	1,800億円	1,500億円	300億円
連結経常利益	150億円	120億円	30億円
ROS	8.3%	8.0%	0.3%
ROIC	9.0%以上	—	新設

2023年7月28日公表の適時開示資料より一部抜粋

売上・利益ともに  
上期として過去最高を更新

売上高 **893.9** 億円

売上高

昨年度来、耐火物事業における原料・エネルギー価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁が進んだことに加え、堅調なインド鉄鋼市場等での事業拡大並びに非鉄分野向け拡販等により、売上高は、前年同期に比べ10.9%増収の893億99百万円となりました。

営業利益 **75.9** 億円

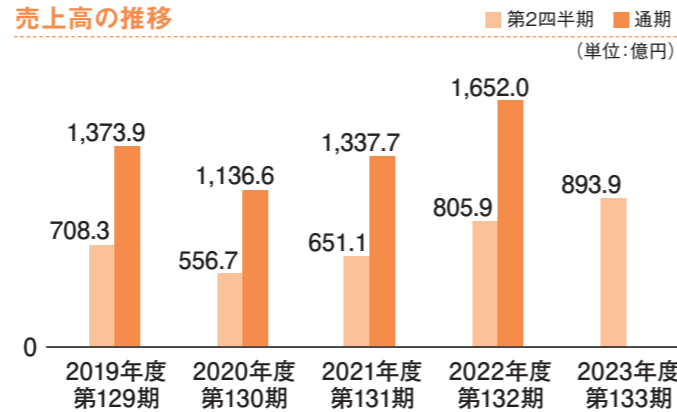
経常利益 **85.9** 億円

親会社株主に帰属する  
四半期純利益 **66.1** 億円

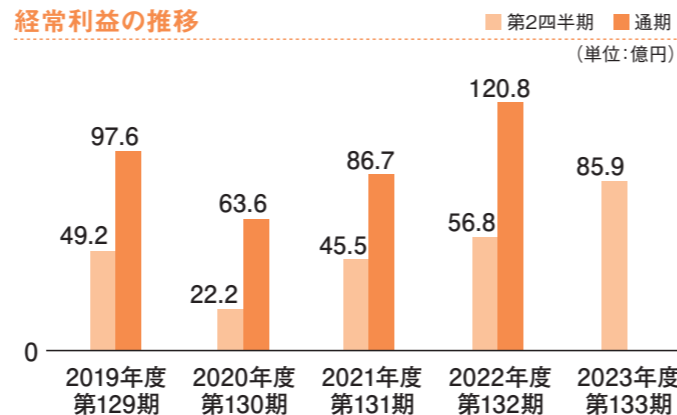
利益

売上高の増加等により、営業利益は、前年同期に比べ54.6%増益の75億96百万円、経常利益は、前年同期に比べ51.2%増益の85億93百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ85.1%増益の66億19百万円となりました。

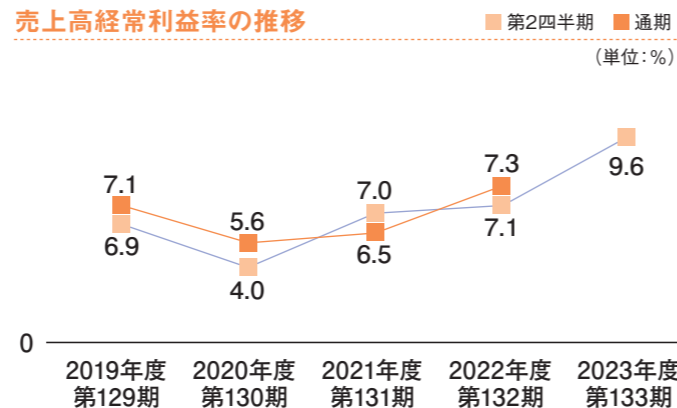
売上高の推移



経常利益の推移



売上高経常利益率の推移



耐火物事業

売上高構成比 **86.3%**  
売上高 **771.3** 億円



インド鉄鋼市場等での耐火物拡販および販売価格転嫁により増収増益

昨年度来、原料・エネルギー価格等コスト上昇分の着実な販売価格転嫁が進んだことに加え、堅調なインド鉄鋼市場等での事業拡大並びに非鉄分野向け拡販等により、売上高は、前年同期に比べ12.3%増収の771億37百万円、セグメント利益は、前年同期に比べ78.7%増益の65億8百万円となりました。

ファーンレス事業

売上高構成比 **8.2%**  
売上高 **73.2** 億円



大型工事案件の受注により増収、利益は受注案件の構成差等により減益

売上高は大型工事案件の受注により、前年同期に比べ4.6%増収の73億23百万円、セグメント利益は、受注案件の構成差等により、前年同期に比べ27.1%減益の3億円となりました。



プッシャー式ピレット連続加熱炉

セラミックス事業

売上高構成比 **4.7%**  
売上高 **41.5** 億円



半導体露光装置用セラミックス材料等の受注増加や家庭用燃料電池向け断熱材の拡販により増収、利益は受注案件の構成差により減益

顧客における需給調整に伴う電子部品向けセラミックス材料の受注減や半導体市況悪化による影響を受ける中、半導体露光装置用セラミックス材料等の受注増加や家庭用燃料電池向け断熱材の拡販により、売上高は前年同期に比べ0.5%増収の41億57百万円、セグメント利益は受注案件の構成差により前年同期に比べ11.3%減益の4億90百万円となりました。

不動産事業、その他の事業

売上高構成比 **0.9%**  
売上高 **7.8** 億円



【不動産事業】

売上高は、前年同期に比べ横ばいの3億68百万円、セグメント利益は、前年同期に比べ4.6%減益の2億86百万円となりました。

【その他の事業】

売上高は、前年同期に比べ7.3%増収の4億11百万円、セグメント利益は、前年同期に比べ10.5倍増益の11百万円となりました。



当社の賃貸物件